

大阪府大阪市

活動名

鶴見小学校・みどり小学校・
焼野小学校「いきいき」活動

関係する学校

鶴見小学校・みどり小学校・焼野小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア参加数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	3人	154人	284日	有	無	無	有	
	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
余裕教室、運動場、体育館					9年度	連携なし		
コミュニティスクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

大阪市鶴見区では、自立した地域活動が大変活発に行われ、中でも地域活性化の柱として「子育て支援策」を重点課題としてきた。学校と地域そして保護者との関係が希薄となり全国的にも校内環境の悪化には目に余る状態が続く中で、いち早く地域住民と町会(自治会)が学校・教師との協議や保護者ニーズを確認の上、「学校問題調査チーム」を立ちあげ広範囲の意見集約に努めた。その結果が「児童いきいき放課後事業」の受託である。この事業には「地域に有る有形無形の資源」を活用し各々一体となり子育て環境の整備、育成を図り、他方では学校を核とした地域コミュニティを形成する事にした。その結果多様化した問題にも共有して対処できるようになり、世代を超えた交流と見守り活動ができるようになった。

特徴

【特徴的な活動内容】

この事業実施に当たっては、当初の目的どおり地域ボランティア(有償を含む)や老人会そして女性会も含めて従来の枠を超えた「育み環境」の整備と子供の個性を尊重した「生活の場」作りに努めてきた。①他校児童との学習やイベント交流により新たな出会いの創設、②日頃は過密気味の教室から緑地公園などの広い空間での競技や散歩を通じて本来のきずなや信頼の醸成、③お年寄りのボランティアなどによる植物探索や昔の家庭生活と現代との対比を通じて社会を考える、④他の団体とのコラボレーションにより、「宇宙の誕生と地球そして未来を考える」・「食育、世界の食料問題」などの講演等を定期的に実施した。いずれも、広範囲な場所を利用するため移動や子供の安全確保には、多くの地域住民やボランティアが応援をしてくれた。

【実施に当たっての工夫】

①企画前には、できるだけ子供たちの希望をとりいれて楽しみながら体験や学習ができるよう工夫した。②ボランティアや保護者には、事前に初期研修を行い生徒との接し方や支援児童への対応などを実施した。③外部とのコラボに対しては、実績と信頼のできる団体を厳選した。④終了後には、アンケートや聞き取り等により、意見を集約して次回に反映させる。⑤子供達が、自分たちでルールを決め上級生が下級生のサポートをしながらゲームや競技を楽しめるよう側面からの支援を行った。

事業を実施して

- ①自校以外の児童との交流に対する関心が非常に強く、特に学校対抗競技や個人対抗競技では、勝負にこだわりながら真剣に取り組んでいた。
- ②まもりごとや約束・取決めについても、学校単位で優劣を競いあい、こうした活動が大変有意義であることが実感できた。
- ③参加した保護者やボランティア、指導者そして子供たちが共に交流できる場は、いきいき活動の運営や管理に対して理解度が高まり、広く認知された。

その他

NPO等との連携活動では、放課後NPOセンターとの連携で実施した「宇宙と地球その未来」のテーマで東京大学の高梨教授が「このとり」に関連して宇宙そのものを分かりやすく児童に講義を行い子供たちから大きな関心が寄せられた、また、不二製油株式会社の社員ボランティアによる「大豆を通じて食・その未来を考える」でも豆腐作りなどの実演を通して食そのものの大切さを教わった。

「特定非営利活動法人 緑・ふれあいの家」は、緑地域内の各種団体・自治会・PTA・社会福祉協議会などが法人格を取得した会社である。積極的に地域の自立と地域コミュニティ作りを目指し「行政と連携」のもとに地域内のいるいるな問題に対処してきた。地域の子供達は地域が育てるをコンセプトにして地域資源を活用し一層の事業内容の向上を図ることとする。



宇宙の誕生



鶴見緑地公園 合同お花見会